

令和6年度 小平市立小平第二小学校 学校評価計画表

学校教育目標 日本国憲法、教育基本法の精神及び人間尊重の精神を基盤に、そして小平市教育振興基本計画の理念を基本に、国際社会に貢献できる日本人、郷土を愛する市民であるという自覚を育てる。同時に、小学校教育を生涯学習の一環と捉え、学習の基礎・基本の定着を図り、互いが認め合う心と体の健康づくりのための教育を推進する。
考える子 やりぬく子 ◎思いやりのある子

目指す学校像(ビジョン)
【目指す学校像】 「人と人とのつながりを大切に、笑顔あふれる学校」
【目指す児童・生徒像】 1. 自分の考えをもち、判断し、行動できる子 2. 元気でたくましく、最後まで頑張る子 3. 相手の立場や気持ちを考え、共に生きる豊かな心をもつ子
【目指す教員像】 1. 全体の奉仕者として自己の使命を自覚する 2. 専門職、教育のプロとして研究と修養に努める 3. 組織的な対応を意識して職務に励む 4. 健康保持や自己の働き方に留意する

前年度までの学校経営上の成果と課題
 ・成果:創立150周年事業を学校・地域・保護者が一体となって取組を実現することができた。創立150周年事業を通して児童の愛校心が高まり、主体的に協力して活動する意識が高まった。
 ・課題:不登校児童への対応と通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習、理解教育を充実を図る。本校が初任及び2校目の若手教員の指導力・授業力の向上に取り組む。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学習指導	・基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ・全ての児童にとって過ごしやすい教室、分かりやすい指導に取り組む。	・算数習熟度別指導や朝学習、補習授業、家庭学習などの充実を図る。 ・児童の学力の実態を全教員が共有し個別指導、授業改善に生かす。 教室環境や授業のユニバーサルデザイン化の推進を図る。	・3年生以上の算数習熟度別学習や朝学習、夏季休業中の補習授業を実施し、個の課題に応じた指導をする。併せて学習者用端末を活用して家庭学習の充実を図る。 ・全国学力学習状況調査、東京ベーンシークル診断テスト等の結果を生かしながら、授業改善プランを作成し、授業改善を図る。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満
			・特別支援教育部を中心に「こだらこれだけ」の徹底等全ての児童にとって過ごしやすい学習環境づくりに取り組む。 ・校内研修やOJT研修で、学習活動での効果的な学習者用端末の活用や指導方法の工夫改善に取り組む。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満
			・生活安全・交通安全・情報モラル教育の充実を図る。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が80%以上 3 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が60%～79% 2 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が50%～59% 1 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が50%未満
			・地震等の災害から自分や他の人の生命を守る防災教育の充実を図る。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 児童へのアンケートで 肯定的回答が100% 3 児童へのアンケートで 肯定的回答が80%～99% 2 児童へのアンケートで 肯定的回答が70%～79% 1 児童へのアンケートで 肯定的回答が70%未満
安全教育	・生活安全・交通安全・情報モラル教育の充実を図る。 ・地震等の災害から自分や他の人の生命を守る防災教育の充実を図る。	・毎月の避難訓練や安全指導に「安全教育プログラム」を活用した指導を工夫し、生活安全・交通安全の意識を高める。また学年の実態に合わせてセーフティ教室、交通安全教室等の講師を招聘しての体験型指導の充実を図る。 ・「SNS東京ノート」、「二小SNSルール」を活用し、児童の実態に合わせた情報モラル教育に取り組む。	・「防災ノート」を計画的に活用し防災意識を高める。 ・教室移動等全ての教育活動を行う空間に防災頭巾を持ち込み児童の防災意識の向上を図る。 ・全教職員が「二小危機対応管理マニュアル」を十分理解し、意識向上を目指す。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が80%以上 3 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が60%～79% 2 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が50%～59% 1 保護者学校教育アンケートで 肯定的回答が50%未満
			・各学級で代表委員で探採したいいじめゼロ宣言を受けて、いじめ見逃しゼロの目標を掲げ、取組化や実現化を図る。 ・いじめ対策会議を月1回及び対応が必要な事案が発生した際は即時開催し組織的に迅速に対応する。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満
			・学級活動、学校行事、異年齢交流活動等の特別活動を通して、協力する楽しさや喜び、自治的活動のよさを実感させ、支持的風土を育成する。 ・特別支援教育部を中心に若草学級との交流・共同活動、副都立交流を計画的に実施し、取組の充実を図る。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満
			・年間計画に沿って、学校経営協議会、避難所運営準備会を開催する。地域、保護者にHPやCS便り等を活用して、学校経営協議会の様子や各プロジェクトの理解を促し協同して取組を推進できるようにする。 ・学校経営協議会を中心にPTAや青少年対連携して、学校支援ボランティア、地域行事等に取り組む。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満
特色ある学校づくり	・創立150周年事業による成果の継続し、学校経営協議会を中心に地域・家庭と連携した教育活動の充実を図る。 ・通常学級、若草学級、くすのき学級、きこえとことばの教室が連携し、特別支援教育を推進する。	学校経営協議会を中心に各プロジェクトの取組の推進とPTA、青少年対等の地域連携の充実を図る。 校務分掌組織に特別支援教育部を設置し、通常学級、若草学級、くすのき学級、きこえとことばの教室の連携を図り特別支援教育の推進を強化する。	・年間計画に沿って、学校経営協議会、避難所運営準備会を開催する。地域、保護者にHPやCS便り等を活用して、学校経営協議会の様子や各プロジェクトの理解を促し協同して取組を推進できるようにする。 ・学校経営協議会を中心にPTAや青少年対連携して、学校支援ボランティア、地域行事等に取り組む。	4 全学年・学級で実施100% 3 全学年・学級で実施80%～99% 2 全学年・学級で実施70%～79% 1 全学年・学級で実施70%未満	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満
			・特別支援教育部を中心に通常学級・若草学級・きこえとことば教室・くすのき教室との連携を図るよう互いの取組を把握し、情報を共有する。 ・特別支援教育部が計画的に校内委員会を開催する。必要に応じて特別支援教室教員、医療機関等関係機関との連携や、SC・SSWなどの情報共有を図り対応する。	4 年6回以上 3 年5回以上 2 年4回以上 1 年3回未満	4 コミュニティ・スクール委員の評価で 肯定的回答が100% 3 コミュニティ・スクール委員の評価で 肯定的回答が80%～99% 2 コミュニティ・スクール委員の評価で 肯定的回答が70%～79% 1 コミュニティ・スクール委員の評価で 肯定的回答が70%未満
			・学習者用端末やC44校内掲示板や職員室メールを活用し会議時間短縮、校務軽減を推進する。 ・週に定時退勤日を設定し、週当たり在校時間は最大60時間とする。	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満	4 教員の80%以上が達成 3 教員の70%～79%が達成 2 教員の60%～69%が達成 1 教員の60%未満が達成
			・各部会・分掌組織の取組は、目標値を掲げるなど明確化する。 ・自己申告書に示した取組の進捗状況を把握し適宜改善を図る。	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満	4 教員の80%以上が達成 3 教員の70%～79%が達成 2 教員の60%～69%が達成 1 教員の60%未満が達成
業務改善の働き方	ライフワークバランスの意識を向上させ、時間管理・校務改善・体制整備等に取り組み、誰もが働きやすい職場環境作りに取り組む。	校務軽減に努め、勤務時間内での教材研究の時間確保、教職員の勤務時間の管理を徹底する。 校務改善について、組織の取組により意識改革を図り、個々の具体的な取組をつなげる。	・学習者用端末やC44校内掲示板や職員室メールを活用し会議時間短縮、校務軽減を推進する。 ・週に定時退勤日を設定し、週当たり在校時間は最大60時間とする。	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満	4 教員の80%以上が達成 3 教員の70%～79%が達成 2 教員の60%～69%が達成 1 教員の60%未満が達成
			・各部会・分掌組織の取組は、目標値を掲げるなど明確化する。 ・自己申告書に示した取組の進捗状況を把握し適宜改善を図る。	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100% 3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99% 2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79% 1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満	4 教員の80%以上が達成 3 教員の70%～79%が達成 2 教員の60%～69%が達成 1 教員の60%未満が達成